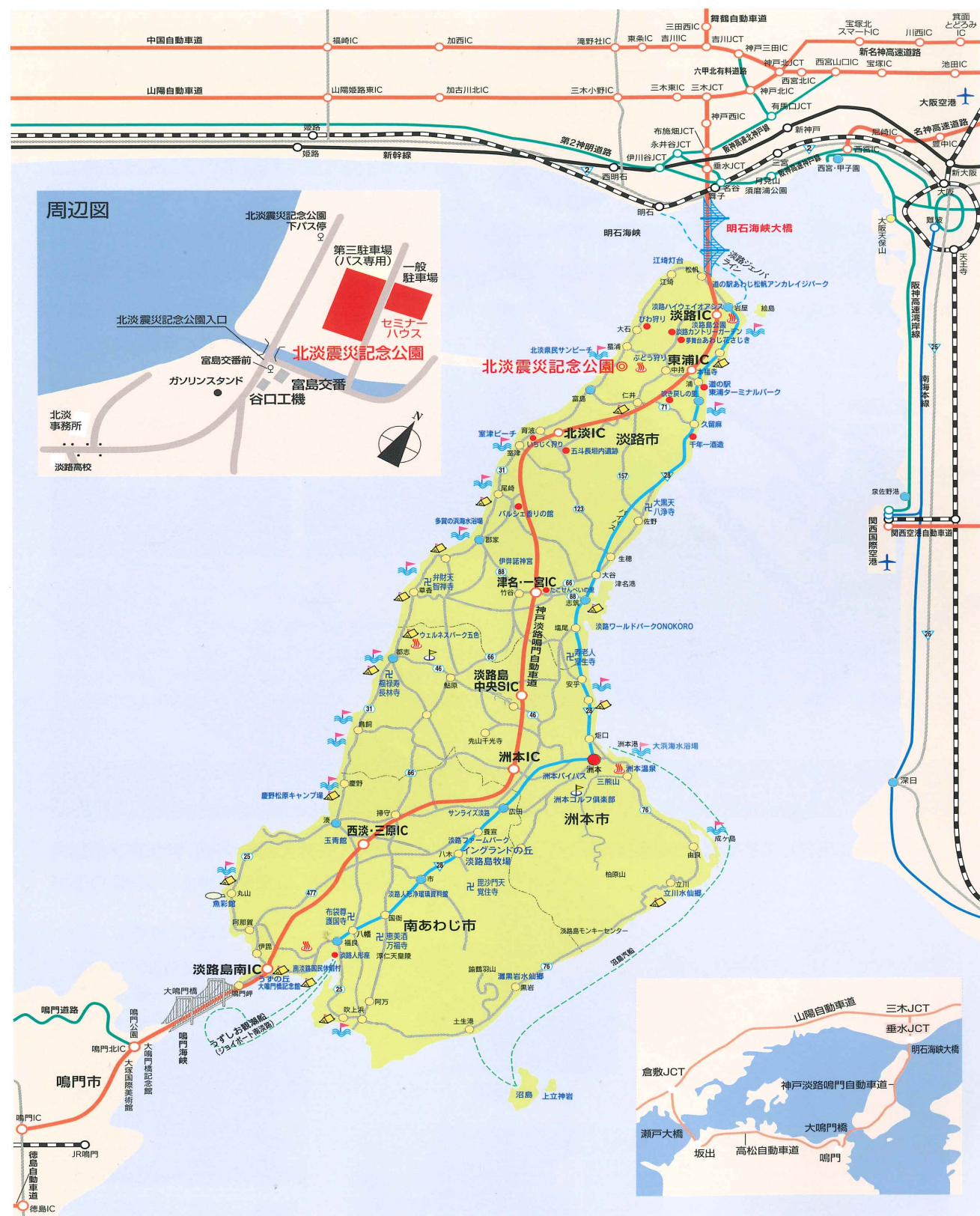


北淡震災記念公園へのアクセス



交通 アクセス

J B 本四高速 神戸淡路鳴門自動車道 …… 北淡ICより車で10分
 // …… 淡路ICより車で20分
 淡路ジェノバライン(岩屋航路・明石発) …… 岩屋港よりタクシーで20分
 岩屋港よりあわね・あわねバスで約20分 …… 北淡震災記念公園下車

宿泊地よりの 所要時間

(道路事情等ご考慮ください。トイレ休憩含まず)

神戸・三宮地区(高速道路利用、北淡IC経由) …… 車で50分
 有馬温泉(高速道路利用、北淡IC経由) …… 車で45分
 洲本温泉(国道、県道経由) …… 車で55分
 南淡路・福良(高速道路利用、北淡IC経由) …… 車で50分
 四国・鳴門公園(高速道路利用、北淡IC経由) …… 車で60分
 徳島市内(国道11号線、高速道路利用、北淡IC経由) …… 車で80分

医療機関・所轄官庁

病院 診療所

●北淡診療所〈内科〉(車で15分) TEL.0799-84-0079
 ●大橋医院〈内科〉(車で15分) TEL.0799-84-0066
 ●中田医院〈内科〉(車で5分) TEL.0799-82-2399
 ●東浦平成病院〈総合〉(車で15分) TEL.0799-74-0503
 ※いずれも健康保険証のコピーでの扱いは致しません。

警察・消防 保健所

●兵庫県警淡路警察署 〒656-2401 淡路市岩屋2942-24 TEL.0799-72-0110
 ●淡路広域消防 北淡出張所 〒656-1602 淡路市育波478-2 TEL.0799-84-0119
 ●兵庫県洲本保健所 〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5 TEL.0799-26-2062

国指定 天然記念物 野島断層

北淡震災記念公園

ご見学・ご利用のご案内



国道43号倒壊再現模型



北淡震災記念公園オリジナル紙芝居
 「阪神・淡路大震災まーくんが伝えたいこと」
 主人公:まーくん

〒656-1736 兵庫県淡路市小倉177番地
 TEL.0799-82-3020 FAX.0799-82-3027



野島断層保存館

兵庫県南部地震で出現した野島断層。野島断層保存館では断層をありのままに保存し、地震の凄まじさと驚異を感じていただき、地震に備えることの大切さを伝えます。



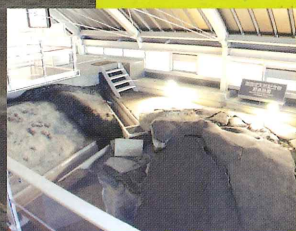
エントランスホール

入館受付やトイレ、国道43号が倒壊した様子の再現模型、震災当時の写真パネル、活断層の地図があります。(車イス、ベビーカーの貸し出しもあります。)



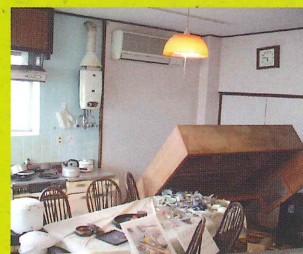
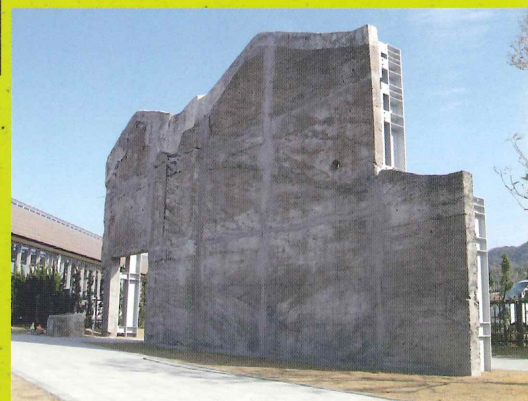
断層保存ゾーン 広さ:422m²

断層による様々な地形の変化をパネル、案内係の解説で詳しく観察できます。断層の断面が見られるトレンチ展示や触れる断層もあります。



神戸の壁

第二次世界大戦の神戸大空襲に耐え、阪神・淡路大震災では、地震と火災に耐えた神戸市長田区若松町の公設市場の防火壁です。野島断層と共に震災を語り継ぎます。

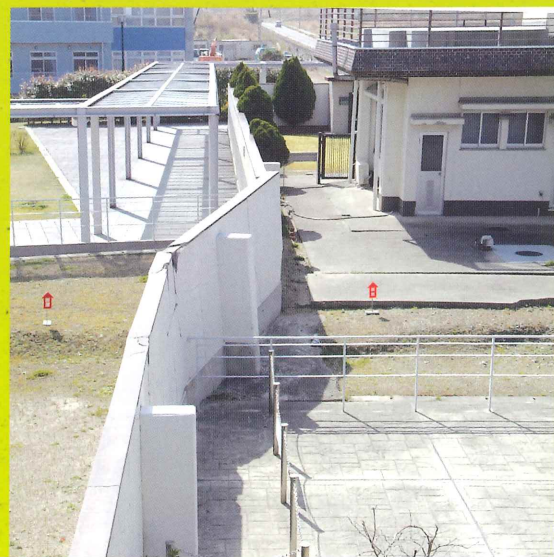


メモリアルハウス

活断層の真横でもほとんど壊れなかった家を「地震に強い家」として公開しました。家の塀や花壇の煉瓦がずれた様子、当時の台所も再現しています。



メモリアルハウス



活断層ラボ

活断層や過去の地震、津波についての展示、液状化の実験など地震について学べる施設です。



震災体験館

震災当時の写真や映像、防災用品の展示があります。

VRを使った揺れ体験ができます。

※12歳以下はVR無しで、モニターを見ての体験です。

※6歳以下は体験できません。

※混雑時は体験ができない場合がございます。



ミニシアター

開館時間 9:00～17:00

※12月下旬に約1週間の臨時休館があります。

見学料金表	個人	団体	障害／介添え
大人	730円	660円	360円
中学・高校生	310円	280円	150円
小学生	260円	230円	120円

※団体割引は大人・中学生・小学生の合計人数が30名様以上です。

セミナーハウス



震災の語りべの講話やビデオ上映など震災学習にご利用いただけます。また、会議・研修会・講演会など各種会合にもご利用ください。



セミナールーム

セミナーハウス使用料金

	セミナールーム1	セミナールーム2	セミナールーム1・2	会議室
使用料(1時間)	1,100円	1,100円	2,200円	1,100円
収容人員	～90名	～90名	最大200名	～60名

(使用内容により料金が変わります。お問い合わせください。)



震災の語りべ

平成7年1月17日5時46分兵庫県南部地震が起きました。マグニチュード7.3、最大震度7を記録する大地震でした。死者6434名、全半壊家屋約25万棟、被害総額約10兆円を出したこの地震による災害は阪神淡路大震災と名付けられました。当時の北淡町（現淡路市）は人口約11000人、世帯数約3700世帯でした。北淡町では死者39名、全半壊家屋約2300棟という大きな被害が出ましたが、地域住民や消防団員の協力で多くの命を救うことができました。

「震災の語りべ」の方々は、被災体験をした元学校教員、社会福祉協議会職員、消防職員、消防団員や一般の人たちです。大震災の教訓を無駄にせず、後世に活かすために、様々な立場での被災体験を元にそれぞれの語り口で、当時の様子、今後の備えや心構えなどを語ります。



セミナーハウスでの語りべ

修学旅行、校外学習や防災研修で語りべの話を聞きたいという場合は、セミナーハウスで聞いていただくことができます。30分～1時間の間で行程に合わせて資料や映像を使ってわかりやすく当時の様子や体験談を語ります。

費用:5,000円 + セミナールーム代(P.2参照)



「震災の語りべ」の園外派遣

学校の防災集会や防災イベント、宿泊先の旅館やホテル、地域の防災研修会や防災イベントに「震災の語りべ」の派遣を行っています。

派遣費用は事務局へお問い合わせください。
0799-82-3020



お客様の「当時の話が聞きたい」「地震に備えて何をしたらいいの?」という声に応え、平成11年から「震災の語りべ」の活動を始めました。また、震災当時全国からいただいたあたたかい援助の恩返しは、今後起こりうる大地震や、自然災害の時に少しでも被害を減らすために震災を語り継ぐことです。

セミナーハウスでは4000以上の団体にお話を聞いていただき、多くの学校から感想文や御礼状を頂きました。

1995年の1月17日に起こった阪神淡路大震災だけど、すでに自分が生まれていたこの時に、同じ日本でこんなにも大きな地震が発生して、多くの被害を受けていたという事を改めて考えると、自然の驚異を強く感じた。

新潟の大地震が発生した時、東京でも震度3～4の地震があったと思う。あの時も、それまでめったに感じる事のない大きめの揺れに、一瞬気持ち焦った。それなのに、阪神淡路大震災ではその震度4クラスの余震が続き続いていたと聞いて、自分にはその恐怖を想像することが出来なかった。違う地域でまた大きな地震が発生したら、まずどんな救援をするべきなのか具体的に学ぶ事が出来た。

救援物資は安全確保のためにも厚手の衣類を選ぶこと、早く物資の仕分けが出来るように食材のダンボール、衣類のダンボールなど種類別に分けることなど。又、地震が起こる前にやっておくべき備えとして最も心に残ったのは、地域・近所コミュニティ力の強化だった。東京の、特に都会の方ではまずないことだと思う。自分も隣近所にどんな家族構成か、まして名前すら知らない。まだまだ地震等の災害対策が自分には出来ていないと痛感した。

東京都 高校2年生



事前学習用動画をYou Tube でご覧いただけます

北淡震災記念公園 事前学習用動画

あの日から学びたい
5部構成の学習用動画
<https://youtu.be/uuC00b4np9s>



震災を乗り越えて
震災全体の記録動画
<https://youtu.be/3Wf3xGFepNU>



千羽鶴の奉納について

千羽鶴の奉納はべっちゃんないロック前にある慰霊碑をお願いします。後で野島断層保存館内で展示いたします。雨天時・荒天時は野島断層保存館やセミナーハウスの語りべ終了後に受け取りいたします。
※お願い
千羽鶴の長さは1.5m以内でお願いいたします。長すぎると展示ができなくなります。吊り下げのタイプ以外(額に入れたものや画用紙に貼り付けたもの等)は奉納後に館内で展示ができませんのでご了承ください。



阪神淡路大震災についての体験談などを聞いて、自然災害の恐ろしさや、人間の命の尊さ、そして何より今生きていることの喜びを感じました。一人一人に一つづつしか命を大切にしようと改めて思いました。

語りべさんのお話は、私達にとって考えさせられる内容ばかりでした。特に印象に残っているのは、一人暮らしの息子さんの安全が確認出来た時、涙を流して喜んだという話です。

普段何気なく一緒に生活している【家族】という存在が、どれ程大切な存在であるかを感じました。私達に貴重なお話をしていただき本当にありがとうございました。

大阪府 中学2年生



先日は修学旅行でお世話になり、ありがとうございました。実際に体験されたお話を聞いて、とても勉強になりました。10kmも地面が割れたと知ってとてもおどろき、同時にこわくもありました。でも、語りべさんから地震の時、何ができるように役立つか教えてもらい、少し安心しました。

その新しく増えた知識で、家族や近所の人達を守るようになればと思います。本当に貴重なお話をありがとうございました。

滋賀県 小学6年生

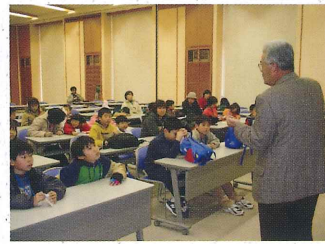
野島断層保存館 見学の流れ

1995年1月17日、それは忘れることが出来ない日、そして忘れてはならない日。阪神・淡路大震災により、かつて無い大きな被害を受けると共に、改めて「命の尊さ」や「絆の大切さ」を思い知ることとなりました。今、日本列島は、地震の活動期に入り、いつ、どこでも地震が起きる可能性があります。

北淡震災記念公園では、阪神・淡路大震災を伝えるだけでなく、震災の教訓を防災・減災に役立てる様々な活動に取り組んでいます。

震災を風化させない 震災の語りべ（約30分～60分）

実際に被災者の体験や震災の復興の様子を生で聞き、肌で感じとることは、展示や映像を見るだけでは得られない貴重な経験です。(※要予約・要費用)



語りべ

元教師 元行政職員
元地元消防団員
元民生委員など

希望に沿った
講話が
聴けます

現在20名登録

会場：セミナーハウス

“自分の命は自分で守る”

災害が起きた時、私たちはとにかく生き延びなければなら
ない。そのときに備え、どこまで真剣に準備をしておけたか
が自分と家族の生死を分けるのです。過去の体験から、自
分と周りの人の命をいかに守るかを学んでいただけます。



自然の脅威 野島断層を見学（約40分～50分）

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)で出現した野島断層。野島断層保存館では断層をありのまま保存。地震の凄まじさと脅威を感じ、地震に備えることの大切さを学べます。

エントランスホール

国道43号線が倒壊した様子の再現模型、震災当時の写真パネル、活断層地図を展示しています。



震災体験館

揺れ体験や記録映像から地震の怖さを体感し、地震への備えを考えさせてくれます。



道路の破壊



台所の様子を再現



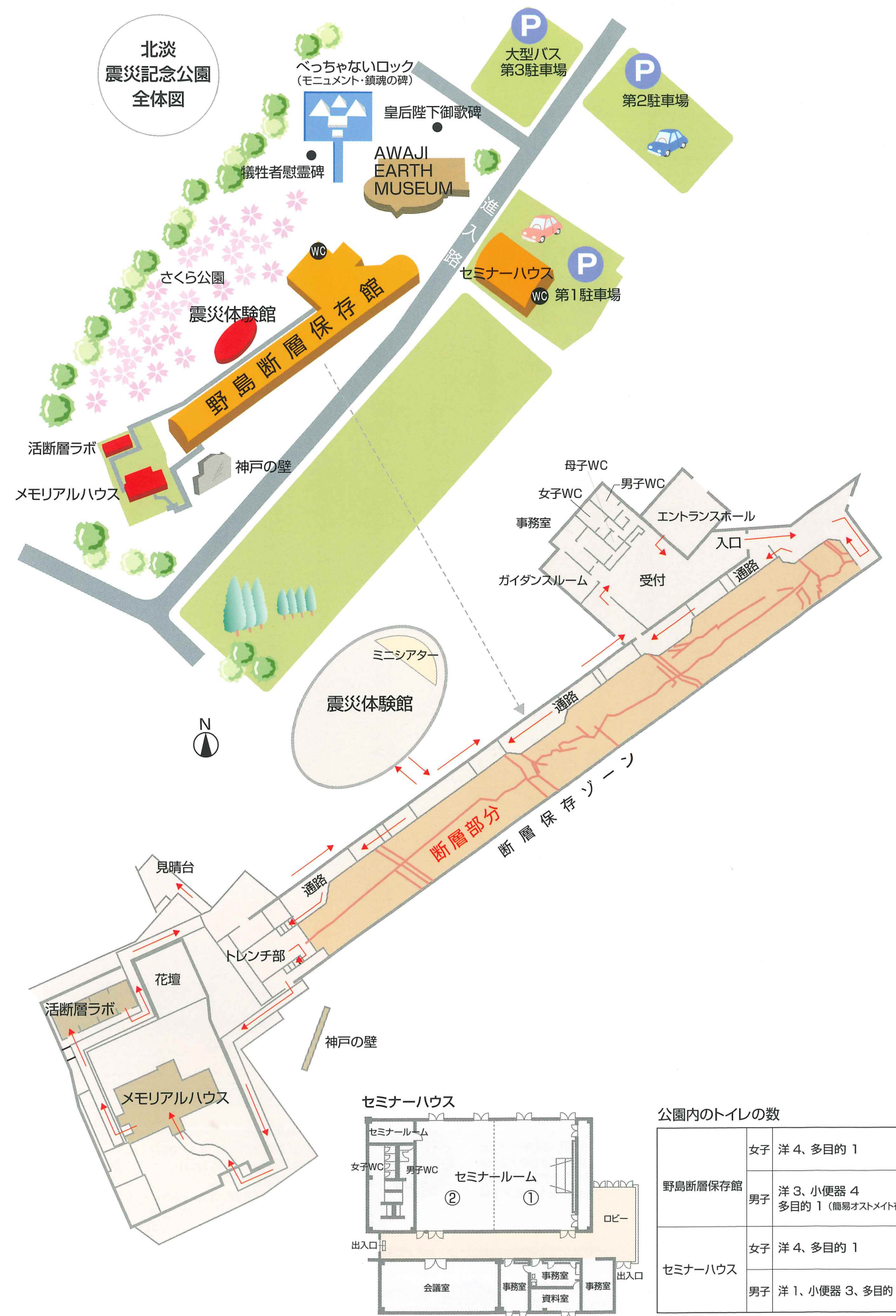
トレンチ

断層の断面と地下の様子が観察
できます。



メモリアルハウス

活断層の真横に建っていましたが、ほとんど壊れなかった家を「地震に強い家」として公開しました。当時の台所の様子を再現しています。



※トイレの数が限られているため、大人数の団体様は事前にサービスエリア等へお立ち寄りの上、ご来園いただけますようお願いいたします。